

「生き抜く力」を育む保小中一貫教育

ふるさと学習



新屋での植林体験(中2)

毎年、ふる里まつりに併せて開催される日南中学校の文化祭ですが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、観覧を保護者・家族のみに制限して行われました。生徒は、演劇、合唱、プレゼンテーションをさつきホールで力いっぱい発表しました。中学生の発表は大変すばらしく、見ている人の心を打つものでした。生徒たちの頑張りや成長した姿を多くの町民のみなさんにご覧いただけなかったことは大変残念ですが、この場を借りて報告します。

さて、発表の中には、生徒たちによるプレゼンテーション発表があり、学年ごとにトマト栽培に関すること、森林に関すること、修学旅行に代わって実施した県内での研修旅行に関することが発表されました。例えば、森林や林業に関する学習は「ふるさと学習」の一つとして小・中学校ともに様々な形で行われています。今年度、中学校では生徒による植林体験なども

行われました。

小学校では、3年生の総合的な学習の時間に「町の宝を見つけよう」という活動を行って



船通山山頂にて(小3)

ますが、先日は「たたら製鉄」に関する学習として船通山に登ったり、「たたら楽校大宮楽舎」の見学をしたりしました。

ふるさと日南を知り、誇りに思う子どもたちを育てていきたいと思います。



中学生の素晴らしい合唱

地域コーディネーターだより

地域コーディネーターとして約4か月がたとうとしています。コミュニティ・スクールの下で学校運営が行われることで、自分なりになにが出来るかを日々考えていくようになりました。子供たちが健康で生き生きと学校生活が出来るよう皆様と一緒に考えていければと思っています。日南町民の方の温かい言葉が支えです。よろしくお願いします。

5年生は9月15日稲刈り、10月16日には脱穀体験学習が行われました。色々な方に声をかけ、快く引き受けて頂き実施出来ました。特に脱穀では機械を使用するため絶対に事故があってはならないことを我々大人が意識しました。児童もしっかりそのところは理解して取り組みました。児童からの感謝の手紙もいただき、嬉しい内容でした。

子どもたちは夕方など地域の方に指導してもらい、スポーツや音楽などに励んでいます。あるコーチの方が「練習中はすごく熱心に取り組んでいてやりがいを感じている。すごく素直な子ども達ですよ」と言っておられました。私自身の考え方も変えていかなければいけない会話でした。

子どもの成長の基礎となるところは、私は家庭だと思っています(持論です)。食事中でもいいですし、もっと子どもさんの声を聴いてあげればより一層コミュニケーションが深まると思います。あと気になることは箸の持ち方です。箸は万能な道具です。食べ残しも減ります。正しい使い方です。美味しく美味しくいただきます。

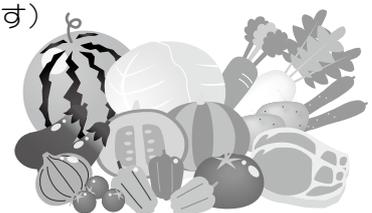
クイズ 「問題」 食料編

日本は食料など多くを外国からの輸入に頼っている国です。その反面食品ロス(廃棄食料)も多くなっているようです。よく耳にする言葉です。〇〇〇率が40%を切り38%台になったといわれます。その〇〇はなんというのでしょうか?(カロリーベースです)

①生産自給率 ②食料自給率 ③木材自給率

ヒント：昔は自給自足がほとんどでした。

(日南町はすごく美味しい農産物が多くあります。生産者の方が丹精込めた農産物をいただきます。米、白ねぎ、和牛の農業者より)



次回はお米についての問題です。お楽しみに！ ※11月号の答え：③番 55

連絡先 教育委員会 82-1118 コーディネーター 荒金敏文 携帯080-5232-7712